

BITNETJP.AD.JPの今後の扱いについて

JOIN協会より提出された依頼書

1997年3月11日

日本ネットワークインフォメーションセンター
センター長 村井 純 殿

東京都新宿区神楽坂1-3
東京理科大学情報企画サービスセンター内
JOIN協会
会長 森 瑞穂
事務局長 神山 一恵

BITNETJP.AD.JP について (お願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本会の運用する BITNETJP と JOIN が現在貴センターの会員となっておりますが、BITNETJP はすでにネットワークへの新規の受け入れを停止しており、全世界的に BITNET はサービス停止の方向にあることから、貴センターからも退会を検討しております。しかしながら、退会后、BITNETJP.AD.JP を JPNIC の特に認めるドメイン名として存続させていただけないかと事前に審議をお願いする次第です。

BITNET は、TCP/IP プロトコルではなく、RSCS(NJE) と呼ばれる独自のプロトコルで構築された国際的なネットワークであり、BITNETJP はその日本の部分を担っております。BITNETJP は、日本における BITNET とインターネットのメールゲートウェイ運用のために独自のドメイン名 (BITNETJP.AD.JP) を使用しています。そのため、国内インターネットで多数利用されている電子メール設定ファイルや著名な設定ファイル構築用ソフトウェア (sendmail.cf, CF, mailconf など) において、*.bitnet 宛の電子メールについては、BITNETJP.AD.JP のネームサーバを参照するという記述が含まれております。世界的にサービス停止の方向にあるとはいえ、まだ多くの国内インターネットユーザがこのゲートウェイを利用しており、退会と同時に BITNETJP.AD.JP を廃止してしまうと大変な混乱が予想されます。

つきましては、BITNETJP 退会後の BITNETJP.AD.JP の継続使用について特段のご配慮願いたく、ご審議の程よろしくお願いいたします。なお、もし継続使用が認められれば、BITNETJP.AD.JP は本会が別会員として登録している JOIN の接続ドメインの一つとする予定です。

敬具